

第2回 豊中市学校運営協議会 議事概要

1. 日時 令和4年(2022年)11月18日(金) 18:30~19:30
2. 場所 豊中市立第十五中学校
3. 出席者 【委員】8人(定数10名)
【事務局】校長、教頭
(傍聴者 2名)
4. 次第 ①会長の挨拶
②全国学力・学習状況調査について
③今年度の学校行事 & いちごフェスタについて
④ビオトープの活用と今後の維持管理体制について
⑤その他
⑥校長挨拶

【議事概要】

案件1 全国学力・学習状況調査の結果報告

- ・ 全国的・大阪府の結果と比べて、自尊感情が若干低い。
 - 主体的に取り組む機会の減少(コロナ禍)が一因ではないか。
 - 活躍の場や機会をさまざまに大人が用意する必要があるのではないか。
- ・ 地域行事への参加の意識が低い。
 - コロナ禍なので、地域の祭りが行われなかった。都会の特性もあると思う。

案件2 学校の取り組みといちごフェスタの報告

- ・ いちごフェスタについて
 - 少なくとも3割の生徒の参加があった。様々なブース、お父ちゃんの会の花火など。
 - 働き方改革の面から先生方に協力を要請しにくい。
 - 来年度以降、例年通りの形に戻すのか、今年度のような形をとるのか検討していく必要がある。
 - フェスタ委員長の負担が大きいため、実行委員会の設立を検討してはどうか。
 - 自分の子どもがいなくても、地域の子どもたちのために、出身校を守っていこうとする皆さんの姿勢に感動した。

案件3 ビオトープの活用と維持管理

- ・ ビオトープの活用について

- これまでミニコンサートを2回開催した。今後は地域の方の発表や生徒のパフォーマンスなどもできればと考えている。
- ・ 豊中市 アフターコロナ事業で20万円を獲得
 - ビオトープの周りに石を敷き詰め安全に利用できるようにしたい。2月25日土曜日（雨天時は3月4日）に作業日を設定し、生徒や地域の人たちと一緒に実施したいと考えているのでご協力をお願いします。
- ・ ビオトープの芝生化の検討
 - 「大阪府みどりづくりの助成金」を得るためには地域団体が主体となる必要がある。
 - 緑のトラスト協会を利用したらどうか・・・2年連続は不可能。来年度は申請できる。
 - 熊野田の原風景を残していくために、ビオトープのあり方を論議してどんな取り組みができるかを考えていきたい。

その他の案件

- ・ 大阪音楽大学にビオトープコンサートへの出演や、合唱コンコールの指導など連携、協力いただければありがたい。
 - 交通手段、大学の授業時間の関係で難しい面もあるが、検討していきたい。
 - いちごフェスタへの出演は、平日ではないので可能なのではないだろうか。

次回開催日 2月17日（金）18：30